

角落し 6門

隧 道

内法幅高共 5.93米 馬蹄型。

勾配 1/1700

水 壓 管

構 造 軟鋼鋸製 鋸鐵管

内 徑 3.5米~2.5米

條 數 3條

互 長 113.4米

4. 全工事に對する數量(概定)

掘 鑿 1,242,900立方

米 (206,800立坪)

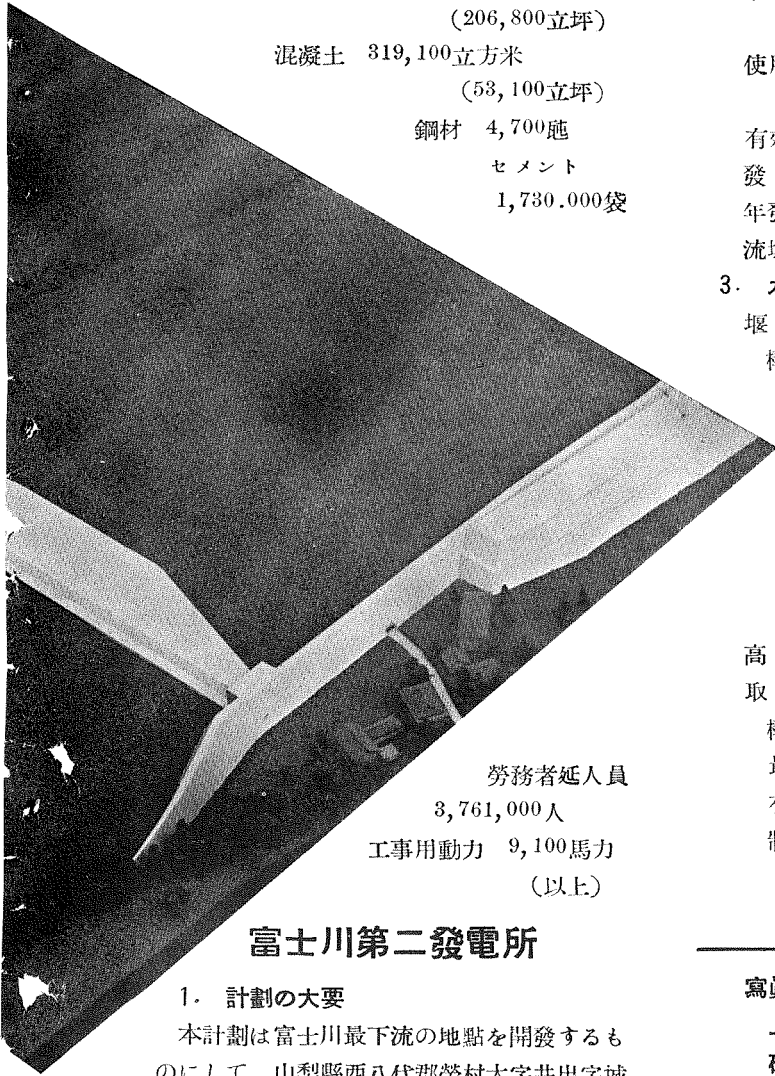
混凝土 319,100立方

米 (53,100立坪)

鋼材 4,700噸

セメント

1,730,000袋



勞務者延人員

3,761,000人

工事用動力 9,100馬力

(以上)

富士川第二發電所

1. 計劃の大要

本計劃は富士川最下流の地點を開發するものにして、山梨縣西八代郡榮村大字井出字城

山地内にて富士川第一發電所運轉後の水を直に取水すると共に、同地内に於て富士川を横斷して堰堤を築造し、左岸に取水口を設け、第一發電所取水口以下の殘流を取水するものにして、之れより延長約17軒の隧道を通じ、途中富士川本流をサイホンにより横斷し、四條の水壓管を経て、發電所に導き、發電後の水は、延長約 620米の放水路より駿河灣に流入せしむるものとす。

2. 水利關係大要

取水口の位置 山梨縣西八代郡榮村大字井出字城山。

使用水量 最大 75 毎秒立方

米。 常時 40 毎秒立方

有効落差 77.75米

發電力 47,400K.W.

年發生電力量 390,310,600 K.W.H

流域面積 3,209平方軒

3. 水路工作物の大要

堰 堤

構 造 固定堰とし、コンクリート造り直線型。

敷 幅 26米

堰 高 (河床上)

2.0米

堤 長 232.5米

土砂吐門 高4.5米

幅 5.0米 1門

高 4.92米 幅 5.0米 1門

取 水 口

構 造 コンクリート造り。

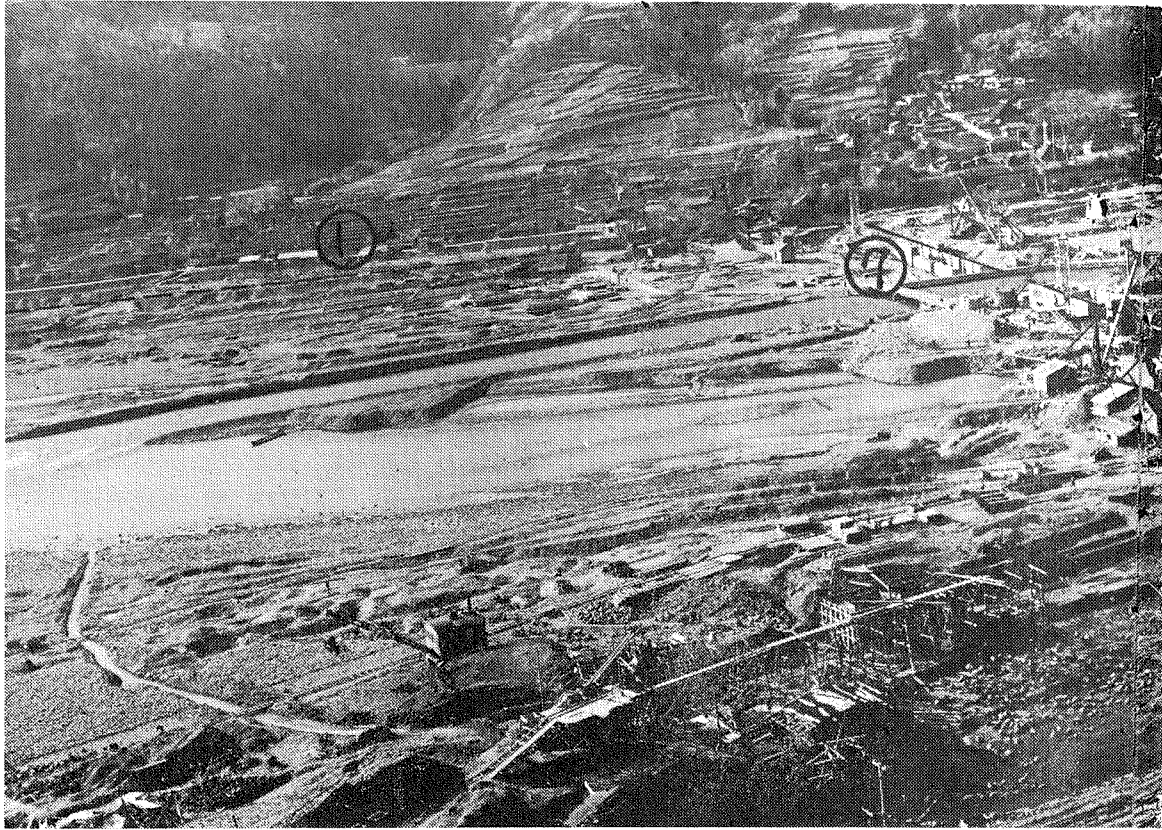
最大水深 1.0米

有効全幅 16.0米

制 水 門 高 3.0米 幅 4.0米 4門

寫真1. 富士川第一發電所堰堤模型。

上流より見たる堰堤、取水口、沈砂池附近全景。



#### 隧 道

内法幅高さ共 6.23米 馬蹄型。

勾 配 1/1700

#### 水 壓 管

構 造 軟鋼板製鋸鍍管。

内 徑 3.2米~2.3米

條 數 4條

五 長 約 350米

#### 4. 全工事に對する數量(概定)

掘 鑿 1,328,800立方米

(221,100立坪)

混 凝 土 335,400立方米(55,800立坪)

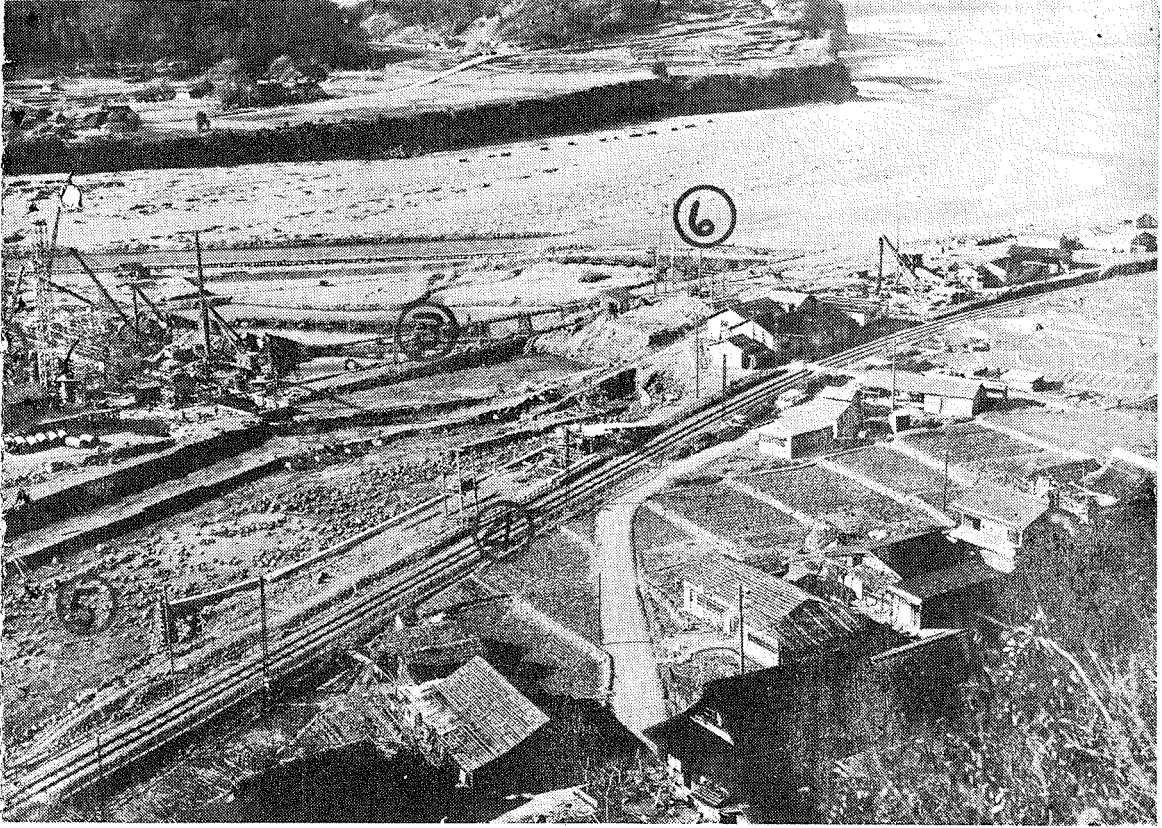
鋼 材 7,900噸

セメント 1,637,400袋

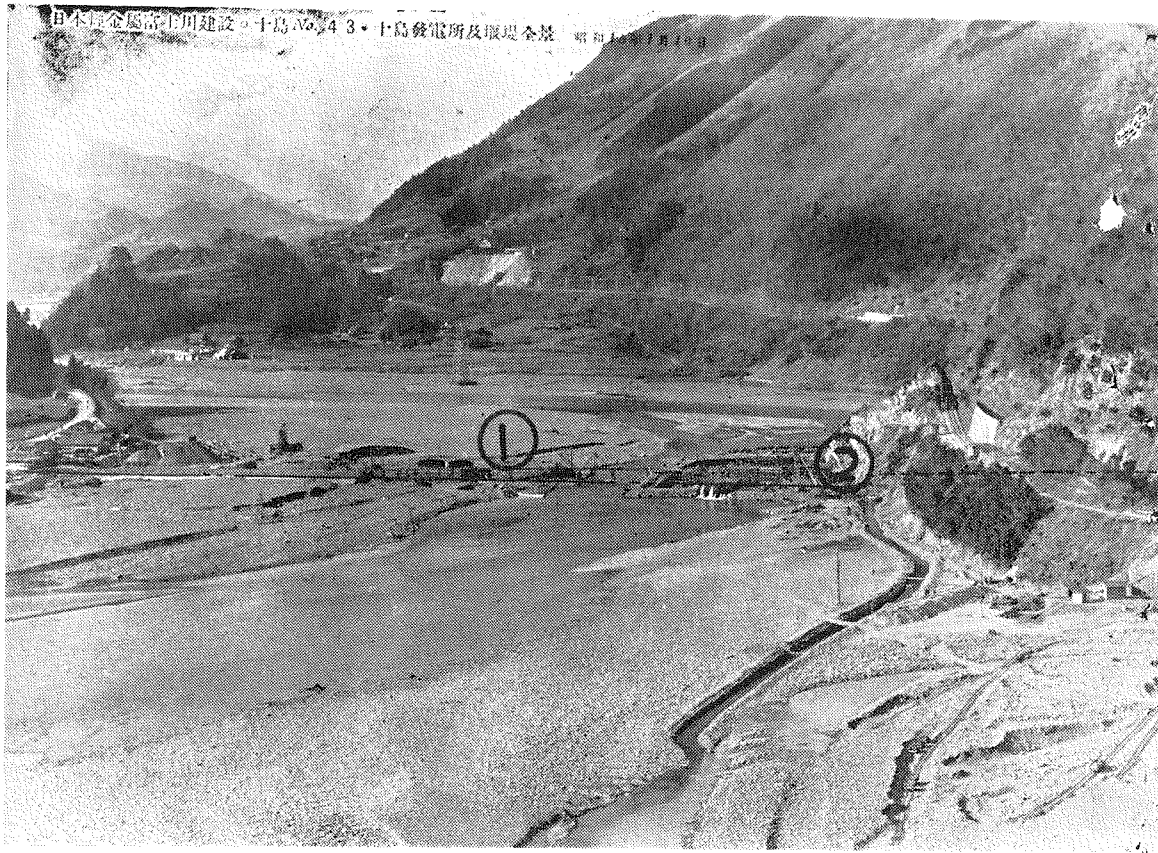
勞務者延人員 4,113,000人

工事用動力 8,500馬力 (以上)

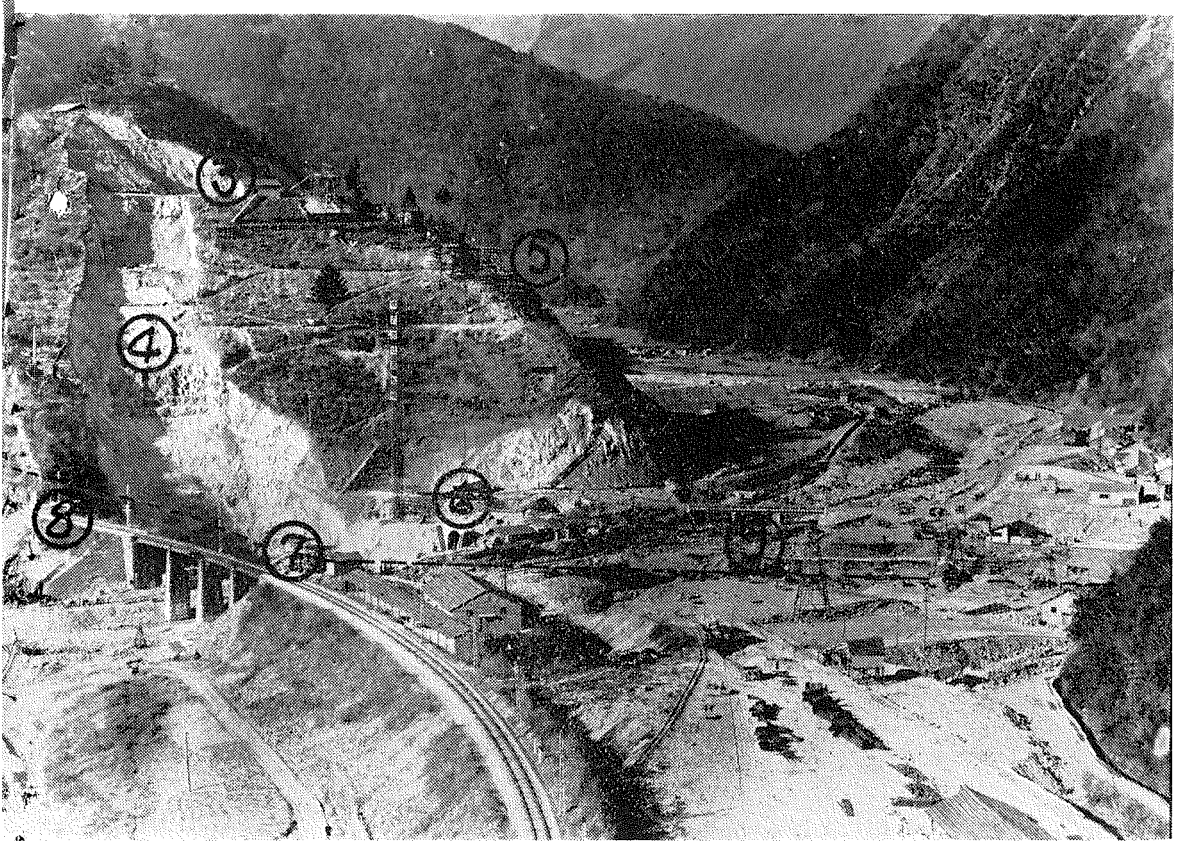
寫眞2. 富士川第一發電所、左岸  
下流沈砂池側より見たる堰堤附  
近工事狀況。(昭和15.2.18)



- (1)波木井連絡サイホン (2)堰堤可動堰部基礎潜函工事  
(3)取水口堀鑿 (4)富士身延線 (5)沈砂池堀鑿  
(6)河川切替用締切 (7)堰堤固定堰部基礎井筒工事



寫眞3. 富士川第一發電所、富士川下流より見たる第一發電所、水槽、鐵管路、發電所、並第二發電所堰堤、取水口附近工事狀況(昭和15.1.10)



- (1)第二發電所堰堤 (2)第二發電所取水口、堰堤排砂門  
 (3)第一發電所水槽 (4)第一發電所鐵管路 (5)第一發電所余水路  
 (6)第一發電所余水路出口 (7)第一發電所 (8)富士身延線  
 (9)第二發電所水路

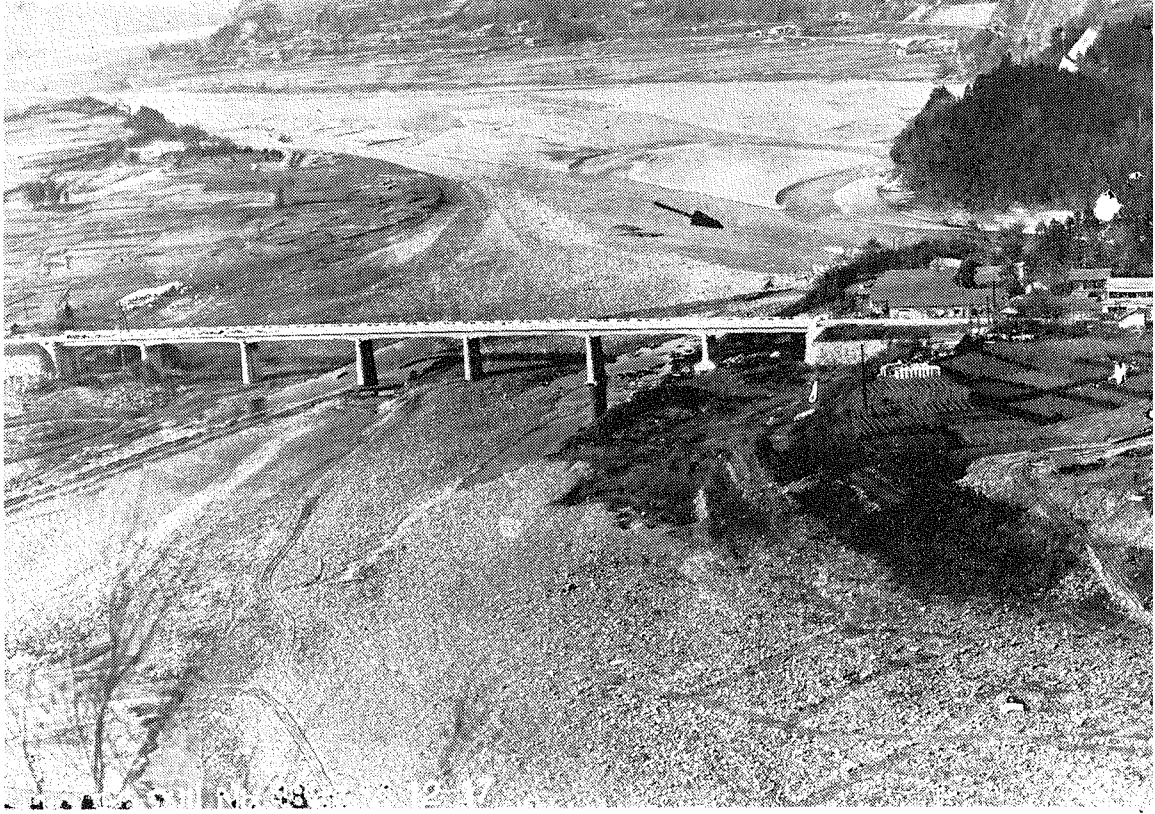
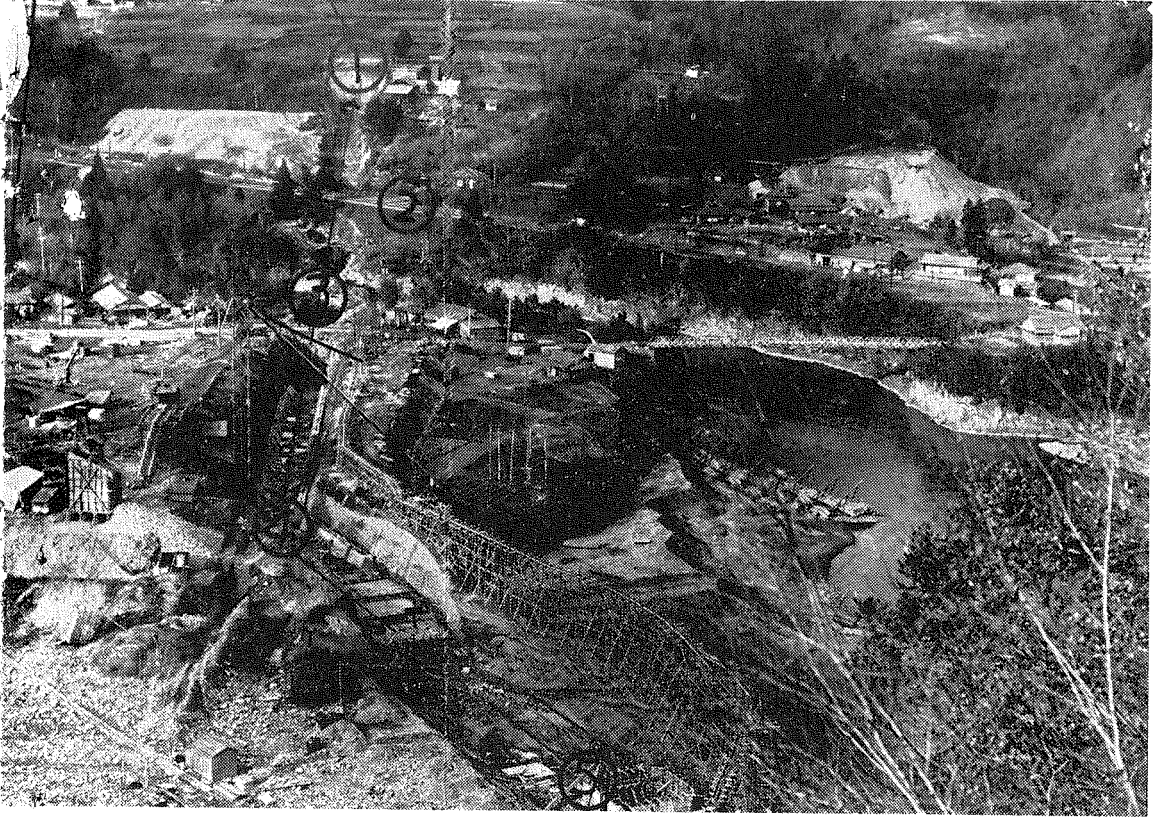
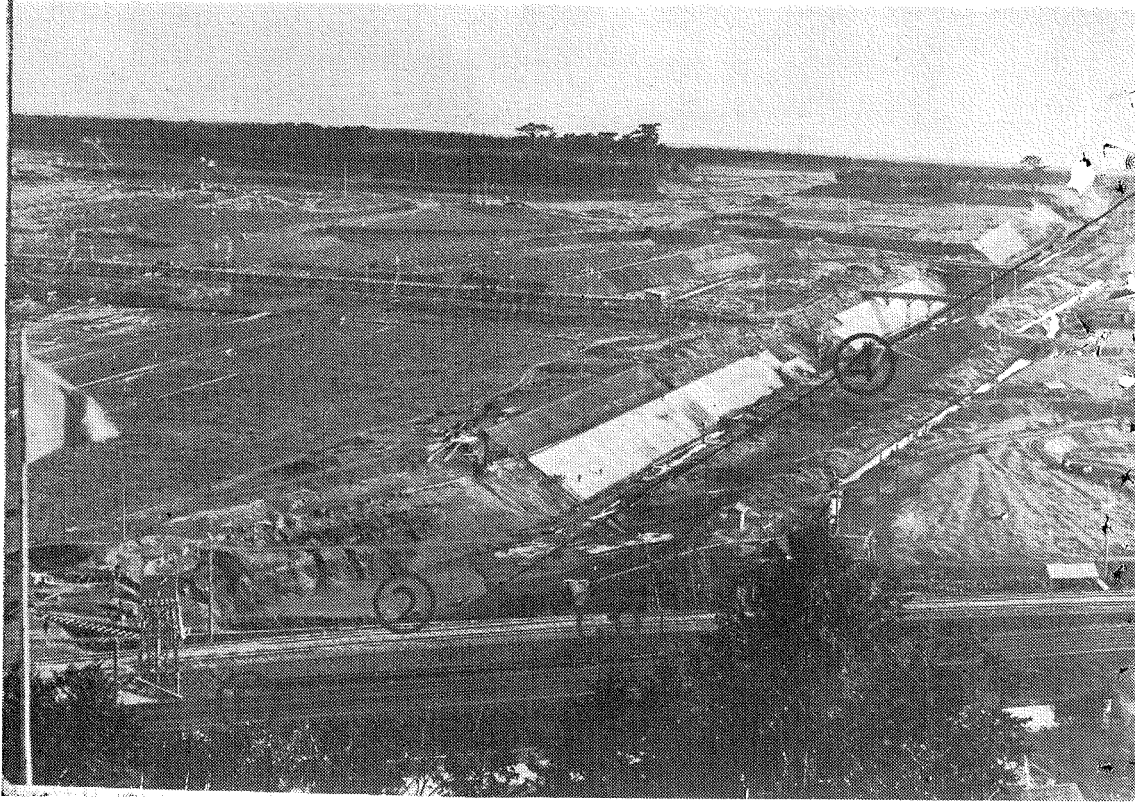


写真4. 富士川第二発電所、右岸  
より見たる釜のロサイホン工事  
状況。(昭和14.12.17)

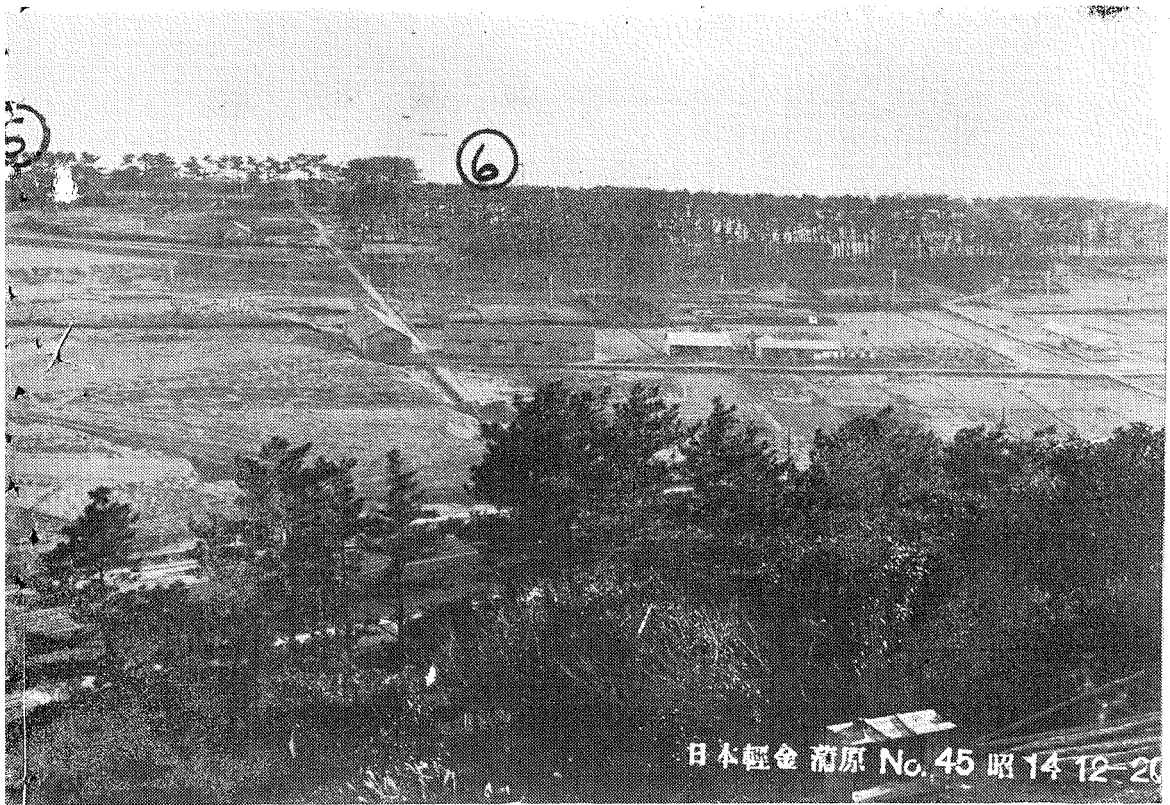


(1)第七號隧道出口 (2)富士身延線橫斷 (3)水路橋部  
(4)暗渠部 (5)暗渠・井筒部



寫眞5. 富士川第二發電所 鐵管  
路より見たる發電所、放水路、  
同出口附近工事狀況  
(昭和14.12.20)





- (1)東海道本線 (2)第二發電所 (3)鐵管路工事の爲の東  
海道本線附替線路 (4)放水路 (5)放水路出口防波堤  
(6)防波堤用ブロックヤード